

県内商材を全国に売り込め



大手のバイヤーに商材をアピールする事業者
＝大垣市恵比寿町、大垣西濃信用金庫

大垣西濃信金がビジネス商談会

大垣西濃信用金庫は、全国展開の百貨店や小売業のバイヤーを招いた県内企業とのビジネスマッチング商談会を大垣市恵比寿町の同金庫本店で開いた。

食品や雑貨を対象に初めて企画。信金中央金庫が後援し、ドン・キホーテやユニーを運営するパン・パシフィック・インターナショナルホールディングス、高島屋、小売業のダイエース、ペースクリエイト、サービスエリア運営の名鉄ミライ

ートなど8社のバイヤーが10ブースを構え、大垣西濃信金の取引先28事業者が参加した。

事業者はそれぞれ希望するバイヤーのブースで30分ずつ計66の商談を繰り広げ、自社の商品やサービスを売り込んだ。バイヤー側から求められた商談もあり、事業者は事業拡大や販路開拓を見据えて熱のこもったやりとりを重ねた。

輪之内町でカフェ併設のドッグランを経営する高橋

唯実那さんは、犬も食べられる塩分無添加の麺製品などをドン・キホーテの担当者売り込んだ。一部改良して今後もメールで商談を続けることになったといい「大手と会えるチャンスはないので、ありがたい」と喜んだ。

物産展などを担当する高島屋の食料品バイヤーは「岐阜ならではの食材、商材について、直接話して勉強し、一つでも取り入れた」と話した。